

# 集団的自衛権行使容認の閣議決定は撤回を

日本国憲法  
前文(一部)

…政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が存することを宣言し、この憲法を確定する。

第9条

1 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。  
2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

集団的自衛権の行使とは、日本が攻撃されていなくても海外で武力行使が行えることです。戦後69年、武器を持って他国の人を殺し殺されることがなかったのは憲法9条があったからです。憲法解釈変更を一内閣の閣議で決めることは憲法破壊のクーデターです。

今定例会には、東京土建労働組合港支部、港区労働組合総連合、みなと・9条の会、東京合同法律事務所、4団体から「憲法の解釈変更で集団的自衛権行使容認に反対する請願」など4本の請願が提出されました。6月25日、多数の傍聴者が見守る中、審議が行われました。



総務常任委員会 説明する町田弁護士

請願の説明は、町田・緒方両弁護士が行い、「憲法の解釈を一内閣の閣議により変更するということは立憲主義に反するものであり、日本が戦争に踏み込むというその実態において、平和主義に明確に違反するもの」、「個別的自衛権と集団的自衛権の行使の違い」などが説明されました。

共産党委員からは、「安倍首相が記者会見で米艦船による邦人救出のパネルを使って説明していたが、この事例は想定されるのか」、「米軍のイラク戦争の犠牲者、その後の自殺等の数は」などの質問が出され、「邦人救出はありえないこと、米政府も以前から救出を拒否している」、「イラク戦争での米軍の犠牲者は4,500人から6,000人、戦争後のPTSDの犠牲者はそれに匹敵する数と思われる」との説明がされました。

質疑後、態度表明が行われ、自民党は「我々としては不採択にしていたいただきたいのだけれども、今回のところは継続で」、公明党は「与党協議を見守って、言うべきときは言う。現時点では継続」と、請願採択を主張したのは共産党のみでした。

7月1日、「閣議決定」されましたが闘いはこれからです。「閣議決定」の撤回、憲法9条を守るためにがんばりましょう。

## 議会傍聴記

### 傍聴席はいっぱいでした。

自民党議員の「尖閣を不法入国、占拠した場合、どのような方法をとったらいのか」との質問にも、請願代表者の町田弁護士は、「尖閣諸島は政府の見解でも日本の領土。日本の領土である以上、警察権限で行使されるべき問題。」など丁寧に説明されていました。貴重な意見が出されても、共産党以外は請願を決めることはしない、また、戦争を知っているという年配の女性議員でさえ、(採択を)認めない。いともアッサリ継続審議という結果に、平和宣言をしている港区の議員として、集団的自衛権行使容認に反対すべきではないか!こんな人たちに区政を任せていいのか!と怒りを感じました。(港南在住 Sさん)

## 医療・介護の改悪許すな運動を大きく 共産党は先頭に立って頑張ります

自民・公明政府は、医療・介護総合法案の採択を強行しました。改悪の前身は、介護保険利用料(一定以上の所得のある方)の1割から2割への引き上げ、要支援1・2の方が受けている訪問介護や通所介護を介護保険サービスから切り離し、市町村の事業(地域支援事業)に移そうとするものです。また特養ホームに入所できる人を原則要介護3以上の方にしていきます。区内の要支援1・2の認定を受けている方は2318人。特養ホームの待機者405人の内介護度1・2の方が58名(2014年5月現在)です。

今定例会で、地域支援事業に移行されることになっても従来の介護サービスが提供できるよう必要な予算と人員・体制の確保、特養ホームについては、待機者に見合う建設を急ぐよう求めました。区長は、「今年度策定する第6期の介護保険事業計画や高齢者保健福祉計画策定の中で検討していく」と答弁しました。

介護保険制度そのものを変える今回の改悪案に対して、日本共産党は改悪を実施させないとともに、現行水準を守るために頑張ります。

困ったときはすぐ相談を 区議会議員がご相談に応じます

日本共産党  
港区議員団ニュース

2014年 夏号  
発行: 日本共産党港区議員団  
〒105-8511 東京都港区芝公園1-5-25  
TEL: 03-3578-2945  
FAX: 03-3578-2947  
メール  
mail@jcp-minatokugidan.gr.jp  
ホームページ  
http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp

港区議員団 検索



大滝 実

区民文教常任委員/行政等対策委員/防災・エレベーター等対策委員/東京オリンピック・パラリンピック対策委員/副幹事長



沖島 えみ子

総務常任委員/交通・環境等対策委員



風見 利男

建設常任委員/議会運営委員/まちづくり・子育て等対策委員/東京オリンピック・パラリンピック対策委員/幹事長



熊田 ちづ子

保健福祉常任委員長/まちづくり・子育て等対策委員/防災・エレベーター等対策委員/議員団長